

平成30年11月7日

各位

会社名 株式会社大戸屋ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 窪田 健一
 (JASDAQ・コード2705)
 問合せ先 取締役経営企画部長 松岡 彰洋
 電話 0422-26-2600

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年5月10日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）並びに平成31年3月期通期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期 第2四半期連結業績予想の修正
 （平成30年4月1日～平成30年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	13,500	210	220	110	15.28円
今回発表予想 (B)	12,700	110	130	70	9.71円
増減額 (B-A)	△800	△100	△90	△40	—
増減率 (%)	△5.9	△47.6	△40.9	△36.4	—
〔ご参考〕前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	12,937	225	237	△48	△6.76円

2. 平成31年3月期 通期連結業績予想の修正
 （平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	27,400	700	710	360	49.99円
今回発表予想 (B)	26,000	570	580	230	31.90円
増減額 (B-A)	△1,400	△130	△130	△130	—
増減率 (%)	△5.1	△18.6	△18.3	△36.1	—
〔ご参考〕前期実績 (平成30年3月期)	26,265	634	662	204	28.39円

3. 修正の理由

当社は、今期を「中計経営計画『改革』Ⅰ期～『改革』Ⅱ期～『飛躍』期」の計画第1期と位置づけ、第2四半期連結累計期間におきましては、7月にグランドメニューの改定を行ったほか、労働環境の改善・人員体制の強化、新業態の出店等に取組んでまいりました。

しかしながら、主に下記の理由により売上計画が当初の想定どおりに進まなかったことに加え、営業費用の増加により、売上高、利益とも期初の予想を下回りました。

- ①既存店舗のお客様数回復の遅れ
- ②台風や地震による営業停止の影響
- ③人手不足とパート・アルバイトの時給の上昇による人件費の増加
- ④水道光熱費をはじめとする販管費の増加

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の状況を踏まえ、お客様数の回復状況、人件費及び水道光熱費等の上昇傾向を勘案し見直しを行った結果、通期連結業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上